

◆【全体会】要旨

今年度も昨年度と同様に、多くの学校関係者に集まっていただき、これからの岩手の教育をじっくりと考える場として、「全体会」を設定しました。校種を越え、岩手の教育の現状を共有しながら、本県教育の最重要課題である「学力向上」を図るために、共に手を携えて取り組むこと、教育行政機関と学校がそれぞれ重視して取り組むことを、午前・午後をとおして考えていきます。

午前は、昨年度家庭学習や校内研修について発表していただいた学校からその後の進捗状況を報告していただきます。また、その他に校内研修・家庭学習に取り組んでいる学校にも発表していただきます。さらに、教育次長より講評を予定しています。

午後は、家庭学習の在り方と部活動等との関わりに焦点を当て、さまざまな立場の教育関係者によるシンポジウム等を行いながら、学力向上を図る、これからの岩手の教育の在り方について、参加者の皆さんと共に考える機会にします。

◆【特設分科会】要旨

特設1【岩手を支える人材育成を考える】

岩手を支える人材育成の在り方について、企業の代表者と教育関係者がパネルディスカッションを行います。本県の現状を見据えながら、地域を担う人材育成という視点での学校の役割について、議論を深めていきます。

特設2【全国学調等の結果を踏まえた授業改善】

全国学力・学習状況調査や岩手県学習定着度状況調査等の諸調査の結果から、岩手の児童生徒の課題が浮かび上がっています。文部科学省指定「確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業」に指定されている紫波地区、奥州地区の小・中学校の発表を行い、その後、シンポジウムで深めていきます。

特設3【今求められる生徒指導】

中学校と高等学校の研究発表や経験豊富なシンポジストによるシンポジウムを通しながら、テーマとして設定した「みんなで進める生徒指導」について共に考える機会にします。視点として、指導体制の充実と生徒指導が学習指導と相互に補完的な関係にあることから日常の学習指導に焦点を当てていきます。

特設4【家庭学習指導の充実】

さまざまな課題が指摘されている家庭学習について、発表とワークショップにおいて、実践校の事例紹介等をもとに議論を深め、参加者の情報交換を交えながら、本県児童生徒の家庭学習の在り方を共に考える機会にします。

◆【実践発表】要旨

生徒との信頼関係を築きながら、それぞれの活動をとおして、生徒の心技体の向上に優れた実績をあげ、県内外から高く評価されている県内中学校の指導者を招き、日頃の指導実践について発表していただきます。

◆【各分科会】実践的な発表の場に ～多様な分科会運営～

【国語】基調講演 「中学校国語科の授業改善」
パネルディスカッション
『言語活動の充実』を図る授業改善の実際」

【算数・数学】パネルディスカッション
「算数・数学科における言語活動の充実」

【理科】パネルディスカッション
「科学的思考力・表現力とは」

【外国語】パネルディスカッション
「外国語活動の完全実施に向けて」

【特別支援教育】パネルディスカッション
「児童生徒の自立や社会参加を目指した指導・支援」